

8. 計画の推進と進捗評価

8.1 評価指標及び目標値

本計画の進捗状況や施策の効果の発現状況を客観的、定量的に評価するため、評価指標及び目標値を設定します。評価指標は、都市機能誘導、居住誘導、公共交通の3つの分野についてそれぞれ設定します。

人口密度等、長期的観点からの評価が必要な指標の目標年次は、計画期間の最終年となる2038年とします。その後については上位計画や関連計画等の見直しを踏まえて、本計画の目標値も見直していくこととします。

表 8-1 評価指標及び目標値

	評価指標	基準値	目標値（2038年）
都市機能分野の指標及び目標値	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地割合 （各拠点に立地している誘導施設の種類の数÷各拠点に位置つけた誘導施設の種類の数）	23/28 種類 82.1% / 100% 【2020年】	28/28 種類 100% / 100% 【2038年】
	都市機能誘導区域内の地価公示価格の平均値	42,750 円 【2020年】	基準年の地価公示価格の平均値以上 【2038年】
	市政アンケートにおける都市機能の利便性評価（市政アンケート（都市核の利便性）における、そう思う+どちらかと言えばそう思うの合計）	・佐野駅周辺：52.7% ・田沼駅周辺：10.2% ・葛生駅周辺：7.6% 【2019年】	・佐野駅周辺：60% ・田沼駅周辺：15% ・葛生駅周辺：15% 【2038年】 （本計画の上位計画において同じ指標により目標値を設定した場合は、上位計画との整合を図る）
居住分野の指標及び目標値	空き家バンクの活用件数	31 件（累計） 【2019年】	300 件（累計） 【2038年】
	居住誘導区域の人口密度	36.8 人/ha【2015年】	36.8 人/ha【2038年】
	居住誘導区域の人口割合（総人口に占める割合）	37.9%【2015年】	45.2%【2038年】
	居住誘導区域内の地価公示価格の平均値	34,195 円 【2020年】	基準年の地価公示価格の平均値以上 【2038年】
	市政アンケート（佐野市（お住まいの地域）の住みやすさ）における、そう思う+どちらかと言えばそう思うの合計	79.6% 【2019年】	85% 【2038年】 （本計画の上位計画において同じ指標により目標値を設定した場合は、上位計画との整合を図る）
公共交通分野の指標及び目標値	東武鉄道佐野駅、田沼駅、葛生駅の乗降客数	1,926,105 人/年 【2019年】	1,979,600 人/年 【2038年】
	市内の路線バスの利用客数（コミュニティバス、民間路線バスの合計）	308,003 人/年 【2019年】	321,500 人/年 【2038年】

8.2 計画の進行管理

本計画の策定後、PDCA サイクルに基づき計画の進行管理を行います。概ね5年ごとに、本計画で掲げた施策等の実施状況について検証するとともに、設定した評価指標や目標値等による進捗状況を評価します。また、その結果等を踏まえ、誘導施策の更新等、必要に応じて計画の見直しを行います。

本計画は長期的な計画となりますので、柔軟に対応していきながら、その推進に努めていきます。

また、近年における気候変動等の影響により、頻発・激甚化する自然災害への対応として、防災・減災の観点を取り入れたまちづくりを加速する必要があります。

そこで、本計画に係る区域における災害リスクを踏まえた課題を抽出した上で、課題に対する取り組みについて「防災指針」を策定します。

なお、策定にあたっては、防災部局をはじめ、部局横断的な検討が必要であることから、2023年度（令和5年度）までに位置付けることとします。

■PDCA サイクルに基づく進行管理

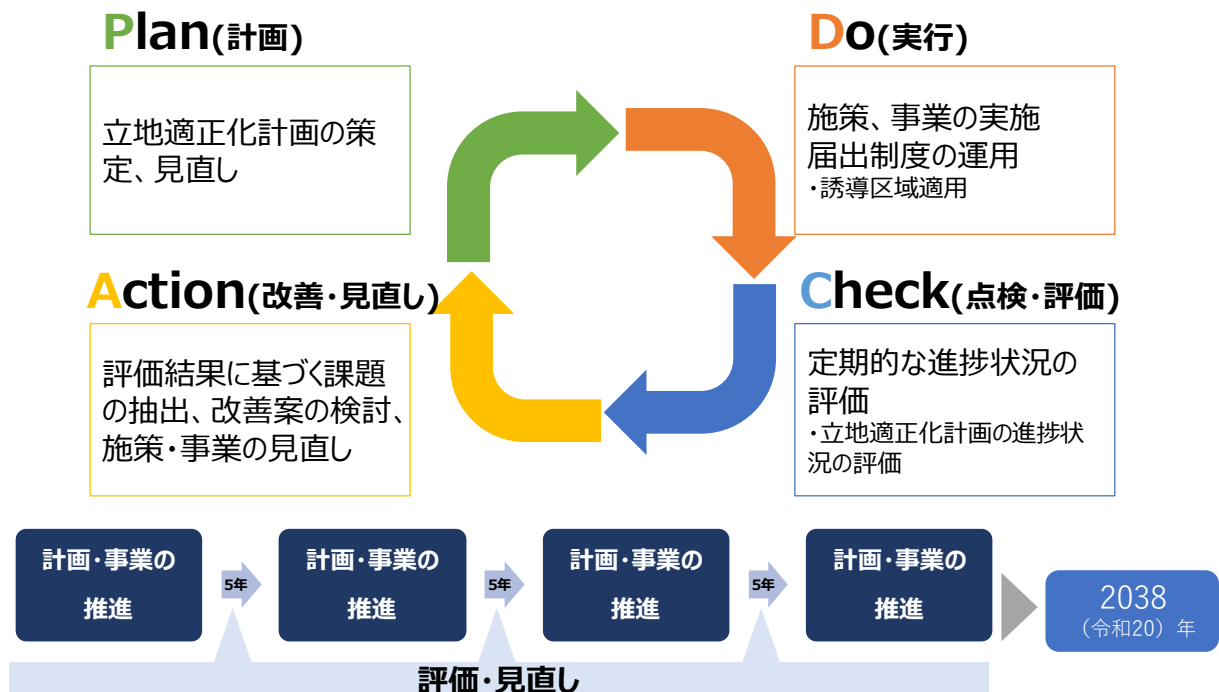


図 8-1 PDCA サイクルに基づく進行管理